

事務事業名	林道災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G		
	施策名	〈35〉林業の振興		担当者名	高木 洋輔		
	目的・対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。			
	基本事業	〈101〉適正な森林管理		予算科目	0:1550:1	大事業名	林道災害復旧事業
目的・対象	市内の森林	意図	適正に管理する。			電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474
				0:520:4	中事業名	令和3年過年林道災害復旧事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R6 年度)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊などの被災を受けた林道を原形復旧するもの。採択申請要件として24時間雨量80mm以上であることと、1箇所の工事費が40万円以上であること。 基本補助率 奥地:65%、その他:50% 高率補助の適用あり(災害発生路線の既設延長等から算定) R3年度 激甚災害(33箇所) 補助率 奥地:97.7%、その他:93.6%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) R4繰越 繰越分4路線16箇所(茂平山深谷線、民谷線、芦谷杉戸線、樫ノ木畑線)完了 R5現年 3路線12箇所(深野菅谷線、高瀬線、杉戸宇山線)発注→1路線5箇所(高瀬線)完了、2路線7箇所(深野菅谷線、杉戸宇山線)R6へ繰越	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	15	64	100	100
イ 完了箇所数(全体33箇所)	箇所	0	5	21	7
ウ 完了率(年度末時点)	%	0	15	79	100
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R4繰越(R3災)】4路線16箇所 工事費:99,278千円、事務費:750千円 計:100,028千円 【R5現年(R3災)】1路線5箇所 工事費:22,833千円 合計:122,861千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円	14,389	22,599	114,285	74,897	
		地方債	千円	20,900	1,400	6,800	2,400	
		その他	千円					
		一般財源	千円	13,260	347	1,776	720	
事業費計		千円		48,549	24,346	122,861	78,017	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災林道の復旧により、林道の安全性と林道利用者の利便性の維持が図られた。R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、林道災以外にも農災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県等と連携し、円滑に事業進捗するよう努める。